

カトリック河原町教会だより

2025年11・12月

教皇レオ十四世 2025年11月12日、一般謁見演説 わたしたちの希望であるイエス・キリストについての連続講話 IV(抜粋)

親愛なる兄弟姉妹の皆様。おはようございます。ようこそおいでくださいました。

キリストの死と復活を信じ、復活の霊性を生きることは、人生に希望を吹き込み、善いわざに励むように励まします。とくにそれは、わたしたちが〈兄弟愛〉を愛し、育む助けとなります。教皇フランシスコがはっきり認識したとおり、〈兄弟愛〉が現代の人類にとって最大の課題の一つであることは間違いありません。

今日においても、兄弟愛が当然のものでもなければ、瞬間的に生まれるものでもないことを、わたしたちはよく知っています。多くの紛争と、世界中で行われている戦争と、社会的な緊張と憎しみの感情は、むしろその逆を示しているように思われます。にもかかわらず、兄弟愛はたんなる不可能な美しい夢でも、幻想を抱いた少数者の望みでもありません。しかし、兄弟愛を脅かす闇を乗り越えるには、源泉に立ち帰ること、そして、何よりもまず、敵意の毒からわたしたちを解放してくださる唯一のかたから光と力を引き出すことが必要です。

「兄弟」ということばは、大切にする、心にかける、支える、支持することを意味する、非常に古い語源に由来します。それは、すべての人に当てはめられると、呼びかけ、招きとなります。わたしたちは、兄弟姉妹の役割は、親族関係、血縁関係、同じ家族の一員であることを指すと考えがちです。実際には、意見の不一致や、争いや、時には憎しみが、見知らぬ人どうしの関係だけでなく、夫婦の間関係までも破壊することがあることを、わたしたちはよく知っています。

聖フランシスコにとって普遍的な兄弟愛の受容のしるしを意味したこの「皆さん」(tutti)は、キリスト教の本質的な特徴を表します。キリスト教は、初めから、決して排他的、また、私的な形の救いではなく、すべての人の救いのために福音を告げ知らせたからです。この兄弟愛はイエスの掟に基づきます。この掟は、イエスご自身が、御父のみ心をあふれるほど豊かに果たすことによって実現したかぎりにおいて、新しい掟です。わたしたちを愛し、わたしたちのためにご自身を与えてくださったイエスのおかげで、わたしたちは、唯一の父の子らとして、また、イエス・キリストにおける真の兄弟として、互いに愛し合い、他者のためにいのちを与えることができます。

兄弟姉妹は、試練の中で互いに助け合い、困窮のうちにある人々に背を向けません。一致と、信頼と、互いへの委託に努めながら、悲しみと喜びをともにします。このダイナミズムは、イエスご自身がわたしたちに与えたものです。「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」(ヨハ 15・12 参照)。

死んで、復活したキリストから与えられた兄弟愛は、利己主義と分裂と傲慢の否定的な論理からわたしたちを解放し、日々新たにされる愛と希望の名において、わたしたちを本来の召命へと立ち帰らせます。

復活したキリストは、わたしたちが「皆、兄弟」であると感じ、また、そうなるために、キリストとともに歩む道をわたしたちに示してくださったのです。



河原町教会のみなさまへ クリスマスメッセージ

シスターテッシー

み言葉は 人間となり我々の間に 住むようになった【ヨハネ 1.14】

毎年、世界中の人々がクリスマス进行祝います。カトリック教会では、**クリスマス**を、人の姿になり私たちの間に住まれた神の子イエスの誕生日として祝います。それは喜び、愛、希望、平和と、幸せのお祝いであり、分かち合い、思いやり、楽しみを家族で集うお祝いです。

クリスマスとは「**キリストのミサ**」のことで、神であるお方が、幼子となり、小さなパンとなって、私たちに食べられ私たち一人一人の心の深みに留まり、出会おうとなさるのです。イエス・キリストの誕生を、祝うことは、単なる祝日ではなく、家を飾る日でもありません。私たちの救い主であり、友であるイエスに、愛と希望と喜びに感謝する日なのです。そして、このようなお祝いの中で、クリスマスの本当の意味とは何でしょうか？

聖書はイエスの受肉とその目的についてこう述べています：「**神は、その一人子をお与えになったほどに、世を愛された。それは、神を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠の命を得るためである**」。救い主であるイエスは、私たちを罪の奴隷から解放し、苦しみと死と復活によって私たちの罪をあがなってくださいましたのです。ですから、クリスマスを迎えるたびに、私たちは毎日救い主が必要であることを思い起こさせます。2025年のクリスマスはまた、馬小屋の中のイエスを私たちの救いの神、救い主として受入れ、私たちの人生をイエスに委ね、新しい年もイエスが私たちの心と人生を導いてくださるよう願います。

クリスマスは「**インマヌエル**」の祝日です。インマヌエルとは「**神が 私たちと共に いる**」という意味です。クリスマスがインマヌエルの祝日であるのは、天使がマリアにつげた「**インマヌエル**」として、私たちの人生のあらゆる出来事の中で、神が私たちと共に、生きてくださるからです。イエスはインマヌエルとして、生誕祭、特にご聖体、聖書において、祈る共同体において、一人一人のうちに生きておられます。私たちの内に生きておられるインマヌエルであるイエスをほかの人々と分かち合うことは、今日、私たちが与えることができる、そして受け取ることができる最高のクリスマスプレゼントなのです。クリスマスは神が私たちに愛を、分け与える祝日です。

私たちの救い主であるイエスは、私たちの神が愛にみち、寛容で、憐れみ深く、報いを与えてくださる神であるという「**良い知らせ**」をもたらしました。クリスマスを迎えるたびに、他者と愛を分かち合うことは私たちの義務であり、そのたびにイエスは私たちの人生に、生まれかわってくださるのだということを思い起こさせています。私たちが愛する人とプレゼントを交換するのは、神がイエスにおいて、私たちに与えてくださった贈り物を思い起こすためなのです。

お生まれになった幼子イエス様を眺めながら、時を過ごすことが出来ますように。天使たちの賛美の声に合わせて、私たちも、共に神を賛美することが出来ますように。キリストにおける友である皆様に**メリークリスマス、そして、2026年の新年おめでとうござい**ます。



七五三のお祝い

11月16日 10:30 ミサの中で、ソ神父様から七五三のお祝いの祝福を頂きました。神父様からおメダイをかけて頂き、千歳飴とお菓子が配られ、和やかな雰囲気の内にお祝いが執り行われました。



クリスマスチャリティコンサート開催

教区物故者祈念ミサ

11月30日 14:30 からクリスマスチャリティーコンサートを開催しました。一場神父様の挨拶を頂き、多数の観客の中、最初に聖歌隊による聖歌「久しく待ちにし」ほかが歌われました。次にソリストによるオーボエ/ヨシ笛・オルガン・ソプラノの素晴らしい演奏が行われました。最後に聖歌隊と観客全員でクリスマスキャロルを歌い、聖堂内に美しい聖歌が響き、盛況の内に終わりました。

尚、収益はカリタスジャパン「クリスマス募金」として「世界の子供たちの支援活動」に使われます。



京都モダン建築祭

11月1日に京都モダン建築祭へ参加し、今年も多数の訪問者がありました。



←ロザリオの祈り

結婚式多数

聖年の巡礼者

聖年の巡礼者が世界各地から多数訪れました。



2025 年 12 月～2026 年 2 月までの主な予定(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
12	7	日	[待降節第 2 主日] 宣教地召命促進の日(献金)
	8	月	無原罪の聖母マリア
	14	日	[待降節第 3 主日]
	21	日	[待降節第 4 主日] ナン神父霊名(ステファノ 12/26)のお祝 10:30 ミサ
	24	水	主の降誕(夜半)ミサ 18:30・21:00
	25	木	主の降誕(日中)ミサ 7:00・10:30・13:00(英語)
	28	日	聖家族 聖年閉幕ミサ 10:30
1	1	木	神の母聖マリア(元日ミサ)7:00・10:30 世界平和の日
	4	日	主の公現
	11	日	主の洗礼
	18	日	[年間第 2 主日] キリスト教一致祈祷週間(～25 日)
	25	日	[年間第 3 主日] 河原町教会総会 10 時半ミサ後 世界子ども助け合いの日(献金)
2	1	日	[年間第 4 主日]
	2	月	主の奉献
	3	火	福者ユスト高山右近殉教者
	5	木	日本 26 聖人殉教者
	8	日	[年間第 5 主日] 病者の日ミサ 10:30
	11	水	世界病者の日
	15	日	[年間第 6 主日]
	18	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) ミサ 7:00・18:30 四旬節愛の献金(四旬節中)
	21	土	四旬節黙想会 10:00
	22	日	[四旬節第 1 主日] 洗礼志願式 10:30 ミサ



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第 2 第 4 のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

木曜日 10:00(12/18 まで)

金曜日 10:30

講座の時間(休講の日もあり)

キリスト教入門講座(キリスト教に
関心がある人、洗礼を考えている人
向け)

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(一場神父)
「聖書」

キリスト教入門講座

第 2・4 土曜日 11:00(一場神父)
「聖書」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシー
のチーム)「こころにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

※原則として毎週

養成講座(隔週)

水曜日 10:10(ソ神父)

聖書通読会

木曜日 11:00(一場神父)

聖書を順番に輪読する集い

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

祈りの集い

聖体顕示式

第 3 土曜日 15:15(ソ神父)

祈りの分かち合い

第 2・4 日曜日 9:45(Sr.小川)

初めて参加ご希望の方は事務室へお問
い合わせください。

カトリック河原町教会だより 2025.11・12 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021

URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>